

3月定例会

平成27年度の補正予算のほか、平成28年度の一般・特別・企業会計の当初予算、条例制定・改定など、37議案を可決(承認・同意)しました。
また、請願1件については採択とし、諮問1件を棄却すべきものと決定しました。

注1…観光客増加・定住人口獲得・企業誘致等を目的として、地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動
注2…環境・貧困などの社会的課題の解決を図るための取り組みを持続可能な事業として展開すること。また、環境・地域活性化・少子高齢化・福祉・生涯教育など社会的課題への取り組みを、継続的な事業活動として進めること
注3…大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと

◆ 補正予算の主な事業(その他) ◆

◇農地中間管理事業…397万2,000円

荒瀬集落(大村市で初めて集落営農組織を法人化)の農地の集積・集約化に協力した者等に対して集積協力を交付

◇企業立地支援補助事業…1,600万円

経済の活性化を図るため、新たに工場を設置し、地元雇用を行った企業に対して補助金を交付

補正予算

約12億7,800万円を追加する平成27年度の一般会計補正予算を可決しました。
委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

●総務委員会

注1 シティプロモーション推進事業

〔概要〕

本市の地域資源や優位性などの魅力を掘り起こし、磨き上げるとともに、マーケティング調査等を踏まえ、効果的かつ戦略的に市内外へ情報を発信するもの

〔補正額〕

5,582万円

〔審査内容〕

Q 本市の偉人を顕彰するパネルをどこに設置するのか。

A 歴史に興味がある方は、大村公園から黒門に抜ける道を通る方が多いと思われるため、今後、関係各課と十分協議し、掲載内容や設置場所を決めたい。

●厚生文教委員会

教育・保育施設事業

〔概要〕

子ども・子育て支援新制度の拡充等により、入所児童数や保育士等の給与などが増加したことに伴

い、所要の補正を行うもの

〔補正額〕

4億5,868万8,000円

〔審査内容〕

Q 市内の保育士の給与支払額を把握しているのか。

A 大村市保育会が共通の給与表を作成しており、基本的にそれに応じた支給を行っているものと理解している。

●経済建設委員会

注2 ソーシャル・ビジネス創出事業

〔概要〕

官民協働で地域課題を解決できる人材の育成を図るとともに、事業化を行い、新たな雇用を創出するもの

〔補正額〕

2,500万円

〔審査内容〕

Q 事業の詳細について説明を求める。

A まず、事業の推進母体である官民協働のプロジェクト協議会を設置する。その後、「子育て支援」〔若者支援・^{注3}U・Jターン〕「健康寿命の延伸」といった地域の課題にに応じて、若年層を中心メンバーとした3つのプロジェクトを設置して、さまざまな研修やワークショップなどを行うことにより、地域課題に自ら取り組む人材の育成を図ると同時に、3つのプロ

ジェクトの事業化と新規雇用の創出を行う。

なお、事業期間を平成29年3月までとしているが、それ以降についても、平成28年度設置予定の産業支援センターと連携するなど継続的な支援を行い、本市におけるソーシャル・ビジネスの定着及び拡大を図っていききたい。

条例

大村市消費生活センター条例の制定や大村市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正など12件の条例制定・改正案を可決しました。
委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

●総務委員会

大村市消費生活センター条例

〔概要〕

消費者安全法の改正に伴い、大村市消費生活センターの組織及び運営等に関する事項を定めるもの

〔審査内容〕

Q 今後、消費生活相談員を採用する際、資格取得者を採用するか。

A 現在、資格を取得している職員が1名いるため、センターの組

